

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場取引所 東大

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 弘

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部 広報IR室長 (氏名) 富岡 修

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	68,416	△11.0	1,127	△55.0	1,345	△49.1	474	△58.6
21年3月期第2四半期	76,882	—	2,502	—	2,644	—	1,145	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	2.41	2.40
21年3月期第2四半期	5.56	5.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	177,826	117,955	65.9	593.84
21年3月期	183,597	119,501	64.7	602.05

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 117,103百万円 21年3月期 118,735百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	10.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	△6.3	3,000	△28.7	3,300	△21.4	1,200	△22.6	6.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	209,935,165株	21年3月期	209,935,165株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	12,738,557株	21年3月期	12,716,701株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	197,206,006株	21年3月期第2四半期	206,188,032株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)のわが国経済は、エコカー減税・エコポイントなどの消費喚起策効果や、一部業種の中国向け輸出回復などにより下げ止まりの兆しは見えるものの、足元では原材料価格の高騰や円高の進行、設備投資の大幅な減少、雇用環境の更なる悪化、個人消費の長引く低迷など引き続き厳しい状況で推移しました。その中で政権交代もあり経営環境が大きく変化することも予測され、先行き不透明な状況が今後も続くと思われま

す。アパレル事業においては、生活防衛型消費が一層強まる中で消費者の低価格品シフトへの加速や業種・業態を超えた競合・競争が激化するなど、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。また、機能ソリューション事業においても、中国経済の回復や在庫調整の進展などはあるものの、業種ごとの回復度合いに温度差があるなど依然不透明感は強く、短期的な回復が期待できない中で引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で、当社グループは、成長確保と体質強化を図るため(1)新規柱商品・新規事業の育成(2)グローバル販売の拡大(3)緊急コストダウン対策に重点的に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68,416百万円(前年同期比11.0%減)、営業利益は1,127百万円(前年同期比55.0%減)、経常利益は1,345百万円(前年同期比49.1%減)、四半期純利益は474百万円(前年同期比58.6%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<アパレル事業>

インナーウェア部門では、メンズインナーは、新商品「カラダトレーナー」及び「ボディワイルド」等の秋物新商品を展開しましたが、主力得意先である量販店の店頭不振、PB(プライベートブランド)商品の拡大、消費者の嗜好変化などの影響からベーシック商品が苦戦しました。レディスインナーにおいても、主力の「CFA(シーファー)100」の「汗対策(パット付)インナー」「ブラインナー」など新機能商品が引き続き好調に推移したものの、全体ではベーシック商品の落ち込みをカバーするには至りませんでした。レッグウェア部門は、プレーンストッキングや柄ストッキングは苦戦しましたが、ファッションと機能を兼ね備えた「トゥシェスタイリッシュレギンス」の強化やコストダウンなどにより減収ながら微増益になりました。婦人服事業については、引き続き経営合理化の効果により改善を見ておりますが、事業環境の好転が見込まれないことから今期をもって終息させることといたしました。以上の結果、アパレル事業の売上高は39,594百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益は1,070百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム部門では、ペットボトル市場の縮小・包装形態変化などで飲料向けフィルムは不振でしたが、もやし・菌茸類に使用される防曇フィルムが堅調に推移しました。エンジニアリングプラスチック部門では、引き続きOA機器関連(複写機、プリンター等)が、顧客企業の厳しい販売不振の影響を受けて低迷しました。電子部品部門では、当社が強みとするノートPC向けタッチパネルの需要拡大が期待され、新規案件が出て来つつありますが、産業用途向けが景気低迷の影響をうけ受注が減少するなど全般には引き続き厳しい経営環境が続きました。一方、メディカル材料部門では、縫合糸は、海外メーカーとの価格競争激化により苦戦しましたが、骨接合材や縫合補強材は代理店との共同販促が奏功し国内外ともに好調に推移したことから増収増益になりました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は22,970百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は1,115百万円(前年同期比55.8%減)となりました。

<ライフクリエイティブ事業>

不動産関連事業は、「グンゼ タウンセンター つかしん」は消費低迷の影響を受けながらも前年並みの集客を確保するなど健闘しましたが、エンジニアリング(工事請負)事業は低調な設備投資の影響により苦戦しました。スポーツクラブ事業は、不採算店舗の閉鎖や既存店舗の活性化策により減収ながら増益となりました。以上の結果、ライフクリエイティブ事業の売上高は6,591百万円(前年同期比5.3%減)、営業利益は637百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、177,826 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5,770 百万円減少しました。主な減少要因は、現金及び預金の減少 2,679 百万円、流動資産「その他」の減少 1,404 百万円(未収入金の減少)であります。

負債は、59,871 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 4,224 百万円減少しました。主な減少要因は、コマース・ペーパーを含む長短借入金の減少 2,807 百万円です。

純資産は、117,955 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,546 百万円減少しました。主な減少要因は、配当による減少 1,972 百万円であり、主な増加要因は、当四半期純利益の計上による増加 474 百万円です。

(キャッシュ・フローについて)

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 2,679 百万円減少し、5,179 百万円となりました。当第 2 四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して 3,220 百万円増加し、6,382 百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益 1,213 百万円、減価償却費 3,985 百万円、たな卸資産の減少額 895 百万円です。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して 660 百万円増加し、4,223 百万円となりました。主な内訳は、機能ソリューション事業の設備投資など固定資産の取得による支出 4,164 百万円です。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して 4,572 百万円増加し、4,965 百万円となりました。主な内訳は、短期借入金及びコマース・ペーパーの返済 5,677 百万円、配当金の支払 1,960 百万円、長期借入による収入 2,700 百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、アパレル事業が市場競争激化や個人消費の低迷などにより低調に推移しており、機能ソリューション事業についても、顧客企業の在庫調整はほぼ完了段階と推測されるものの、本格的な需要回復には至らず、引き続き厳しい状況で推移するものと予想されます。このような状況を踏まえ、下記のとおり通期連結業績予想を修正しております。

なお、配当につきましては当初予想通り 1 株当たり年間 7 円 50 銭から変更しておりません。

平成 22 年 3 月期通期 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	149,300	4,000	4,000	1,400	7.10
今回予想 (B)	142,000	3,000	3,300	1,200	6.09
増減額 (B - A)	7,300	1,000	700	200	-
増減率	4.9%	25.0%	17.5%	14.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	151,470	4,207	4,198	1,551	7.66

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第 2 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

退職給付引当金の計算

期首に算定した年間の退職給付費用を期間按分した額を計上しております。数理計算上の差異は年間費用処理額を期間按分した額を計上しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計方針の変更)

研究開発費の会計処理の変更

従来、当社及び一部の国内子会社は、製造部門における研究開発費については売上原価に計上しておりましたが、研究開発のスピードを上げ事業基盤の強化を図るため、製造部門における研究開発活動を強化していることに伴い、売上高に対応する原価の把握をより適切に行うため、第1四半期連結会計期間より販売費及び一般管理費に計上する方法へ変更しております。

この変更により、従来の方法に比べ当第2四半期連結累計期間の売上原価は627百万円減少し、売上総利益は同額増加しておりますが、販売費及び一般管理費が同額増加したため、営業利益、経常利益への影響はありません。また、期首棚卸資産に含まれていた製造間接費のうち研究開発費相当額 240 百万円を特別損失に計上しており、税金等調整前四半期純利益は同額減少しております。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,179	7,859
受取手形及び売掛金	30,166	30,572
商品及び製品	22,999	23,009
仕掛品	6,535	7,104
原材料及び貯蔵品	4,716	5,005
その他	4,228	5,633
貸倒引当金	57	32
流動資産合計	73,768	79,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,175	40,827
機械装置及び運搬具(純額)	15,322	15,624
土地	12,084	12,059
その他(純額)	4,735	3,675
有形固定資産合計	72,317	72,187
無形固定資産	1,154	1,266
投資その他の資産		
投資有価証券	22,454	22,948
その他	8,498	8,438
貸倒引当金	367	395
投資その他の資産合計	30,585	30,991
固定資産合計	104,057	104,445
資産合計	177,826	183,597

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,091	9,981
短期借入金	5,951	15,460
コマーシャル・ペーパー	15,000	11,000
1年内返済予定の長期借入金	1,311	10
未払法人税等	706	610
賞与引当金	1,633	1,664
その他	7,171	8,333
流動負債合計	41,865	47,061
固定負債		
長期借入金	2,238	836
退職給付引当金	5,340	6,181
長期預り敷金保証金	9,587	9,643
その他	839	371
固定負債合計	18,006	17,033
負債合計	59,871	64,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,086	14,087
利益剰余金	79,366	80,888
自己株式	6,095	6,088
株主資本合計	113,428	114,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,386	5,538
繰延ヘッジ損益	488	128
土地再評価差額金	400	400
為替換算調整勘定	823	1,233
評価・換算差額等合計	3,674	3,776
新株予約権	118	84
少数株主持分	733	681
純資産合計	117,955	119,501
負債純資産合計	177,826	183,597

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	76,882	68,416
売上原価	56,757	50,218
売上総利益	20,124	18,197
販売費及び一般管理費	17,621	17,070
営業利益	2,502	1,127
営業外収益		
受取利息	30	14
受取配当金	302	214
固定資産賃貸料	223	200
為替差益	10	13
その他	111	176
営業外収益合計	677	619
営業外費用		
支払利息	135	115
固定資産賃貸費用	191	184
その他	208	101
営業外費用合計	535	401
経常利益	2,644	1,345
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	-	0
退職給付費用過去勤務債務償却額	781	-
退職給付信託設定益	-	1,522
特別利益合計	787	1,524
特別損失		
固定資産除売却損	132	68
投資有価証券売却損	-	7
投資有価証券評価損	126	0
退職給付費用数理差異償却額	579	1,339
事業構造改善費用	132	-
研究開発費処理の変更に伴う損失	-	240
特別損失合計	970	1,656
税金等調整前四半期純利益	2,460	1,213
法人税等	1,320	714
少数株主利益又は少数株主損失()	5	24
四半期純利益	1,145	474

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,460	1,213
減価償却費	3,976	3,985
貸倒引当金の増減額 (は減少)	3	3
退職給付引当金の増減額 (は減少)	106	325
賞与引当金の増減額 (は減少)	39	34
受取利息及び受取配当金	332	228
支払利息	135	115
固定資産除売却損益 (は益)	126	67
投資有価証券売却及び評価損益 (は益)	126	6
退職給付費用過去勤務債務償却額 (は益)	781	-
退職給付信託設定損益 (は益)	-	1,522
退職給付費用数理差異償却額 (は益)	579	1,339
研究開発費処理の変更に伴う損失	-	240
その他の損益 (は益)	54	39
売上債権の増減額 (は増加)	2,323	578
たな卸資産の増減額 (は増加)	1,556	895
その他の流動資産の増減額 (は増加)	91	103
仕入債務の増減額 (は減少)	866	117
預り敷金及び保証金の増減額 (は減少)	45	118
その他の流動負債の増減額 (は減少)	882	712
その他の固定負債の増減額 (は減少)	397	0
小計	4,984	5,757
利息及び配当金の受取額	332	228
利息の支払額	177	107
法人税等の支払額又は還付額 (は支払)	1,977	503
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,161	6,382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	3,540	4,164
固定資産の売却による収入	31	15
固定資産の除却による支出	61	21
投資有価証券の取得による支出	15	101
投資有価証券の売却による収入	-	19
貸付金の増減額 (は増加)	34	4
その他	11	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,563	4,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (は減少)	4,193	5,677
長期借入れによる収入	-	2,700
配当金の支払額	2,081	1,960
自己株式の取得による支出	2,506	9
その他	2	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	392	4,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	77
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	893	2,730
現金及び現金同等物の期首残高	5,597	7,859
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減 額 (は減少)	432	51
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,137	5,179

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）

（単位：百万円）

事業区分 項 目	アパレル事業	機能ソリューション事業	ライフクリエイイト事業	計	消去又は は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	43,046	27,616	6,219	76,882	-	76,882
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	78	743	889	(889)	-
計	43,113	27,695	6,962	77,771	(889)	76,882
営業費用	42,030	25,170	6,290	73,491	888	74,379
営業利益または営業損失	1,083	2,524	671	4,280	(1,777)	2,502

(注)1. 事業の区分は、製品の種類・性質及び製造方法・販売方法の類似性に基づき分類しております。

2. 各区分の主な製品等は下記の通りであります。

アパレル事業.....インナーウエア、レグウエア、アウターウエア、テキスタイル、繊維資材

機能ソリューション事業.....プラスチックフィルム、エンジニアリングプラスチック、電子部品、
機械、メディカル材料等

ライフクリエイイト事業.....不動産の賃貸及び売買、緑化樹木、スポーツクラブの運営管理等

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

（単位：百万円）

事業区分 項 目	アパレル事業	機能ソリューション事業	ライフクリエイイト事業	計	消去又は は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	39,520	22,899	5,996	68,416	-	68,416
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	71	594	740	(740)	-
計	39,594	22,970	6,591	69,156	(740)	68,416
営業費用	38,524	21,854	5,954	66,333	955	67,288
営業利益または営業損失	1,070	1,115	637	2,823	(1,695)	1,127

(注)1. 事業の区分は、製品の種類・性質及び製造方法・販売方法の類似性に基づき分類しております。

2. 各区分の主な製品等は下記の通りであります。

アパレル事業.....インナーウエア、レグウエア、アウターウエア、テキスタイル、繊維資材

機能ソリューション事業.....プラスチックフィルム、エンジニアリングプラスチック、電子部品、
機械、メディカル材料等

ライフクリエイイト事業.....不動産の賃貸及び売買、緑化樹木、スポーツクラブの運営管理等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間
（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

本国以外の国または地域に所在するセグメントの売上高は、全セグメントの売上高合計の10%未満であるため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

	前第2四半期連結累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年9月30日〕	当第2四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年9月30日〕
海外売上高(百万円)	8,474	7,910
連結売上高(百万円)	76,882	68,416
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.0	11.6

(注)1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高であります。

2. 各国又は地域ごとの海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、一括して記載しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	〔自 平成20年4月 1日〕 〔至 平成20年9月30日〕	〔自 平成21年4月 1日〕 〔至 平成21年9月30日〕
ア パ レ ル 事 業	27,687	25,205
機 能 ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	20,983	17,898
合 計	48,670	43,103

(注)1.上記金額は、製造原価ベースで表示しており、外注生産高を含んでおります。

2.上記生産実績以外に、下記の商品仕入高があります。

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	ア パ レ ル 事 業	2,781
機 能 ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	497	339
ラ イ フ ク リ エ イ ト 事 業	1,146	1,087
合 計	4,426	4,121

3.上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社及び連結子会社は、機能ソリューション事業に含まれる機械類を除き、原則として見込生産であります。

機能ソリューション事業に含まれる機械類の受注高及び受注残高は下記の通りであります。

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	〔自 平成20年4月 1日〕 〔至 平成20年9月30日〕		〔自 平成21年4月 1日〕 〔至 平成21年9月30日〕	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
機能ソリューション事業に 含まれる機械類	2,397	1,352	1,138	882

(注)上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	〔自 平成20年4月 1日〕 〔至 平成20年9月30日〕	〔自 平成21年4月 1日〕 〔至 平成21年9月30日〕
ア パ レ ル 事 業	43,113	39,594
機 能 ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	27,695	22,970
ラ イ フ ク リ エ イ ト 事 業	6,962	6,591
小 計	77,771	69,156
内部売上消去	889	740
合 計	76,882	68,416

(注)上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2009年度 第2四半期 連結決算概要

(1)当第2四半期(6ヶ月)の業績等

項目	当期実績 ('09/4-9)		前年同期 ('08/4-9)		増減 上段()は 増減率	
	金額	対外	金額	対外	金額	増減率
売上高	68,416		76,882		(11.0)	8,466
営業利益	1,127		2,502		(55.0)	1,374
経常利益	1,345		2,644		(49.1)	1,298
税金等調整前 四半期純利益	1,213		2,460		(50.7)	1,246
四半期純利益	474		1,145		(58.6)	671
総資産	177,826		192,654		(7.7)	14,827
たな卸資産	34,251		36,592		(6.4)	2,341
固定資産	104,057		112,047		(7.1)	7,990
純資産	117,955		127,112		(7.2)	9,157
金融収支	113		197			84
(受取利息・配当)	(228)		(332)		(104)	
(支払利息)	(115)		(135)		(20)	
設備投資	2,526		3,293			767
減価償却費	3,985		3,977			8

(注)自己株式の取得等の状況

	(株数)	(金額)
・取得した自己株式(単元未満株式買取含む)	25千株	9百万円
・処分した自己株式	3 "	1 "
・前期末に保有していた自己株式	12,716 "	6,088 "
・当期末に所有している自己株式	12,738 "	6,095 "

<業績概況>

・売上高：対前年同期 11.0%の減収
 ・アパレル事業が市場競争激化や個人消費の低迷などにより低調に推移し、機能ソリューション事業も需要の回復が進まず苦戦したことから、営業利益、経常利益及び四半期純利益は業績予想をクリアしたものの、対前年同期では大幅減益

<特別処理>

・退職給付費用数理差異償却損 13億円
 ・研究開発費処理の変更に伴う損失 2億円
 ・退職給付信託設定益 15億円

<通期予想>

・減収減益の見込

(対前期比)

売上高 6.3%、営業利益 28.7%、
 経常利益 21.4%、当期純利益 22.6%
 ・年間配当は、1株当たり7円50銭を予定

(2)事業のセグメント別業績

(単位：百万円)

項目	当期実績 ('09/4-9)		前年同期 ('08/4-9)		増減		
	金額	対外	金額	対外	金額	増減率	
売上高	アパレル	39,594	57.3	43,113	55.4	3,519	8.2
	機能ソリューション	22,970	33.2	27,695	35.6	4,725	17.1
	ライフクリエイト	6,591	9.5	6,962	9.0	371	5.3
	小計	69,156	100.0	77,771	100.0	8,615	11.1
	消去	740		889		149	-
連結計	68,416		76,882		8,466	11.0	
営業利益	アパレル	1,070	37.9	1,083	25.3	13	1.2
	機能ソリューション	1,115	39.5	2,524	59.0	1,409	55.8
	ライフクリエイト	637	22.6	671	15.7	34	5.1
	小計	2,823	100.0	4,280	100.0	1,457	34.0
	消去・全社	1,695		1,777		82	-
連結計	1,127		2,502		1,374	55.0	

(3)主要経営指標

項目	当期実績 ('09/4-9)	前年同期 ('08/4-9)	増減
総資産			
営業利益率%	0.6	1.3	0.7
総資産			
経常利益率%	0.7	1.4	0.7
売上高			
営業利益率%	1.6	3.3	1.7
売上高			
経常利益率%	2.0	3.4	1.4
自己資本			
比率%	65.9	65.5	0.4
自己資本			
四半期純利益率%	0.4	0.9	0.5
一株当たり			
四半期純利益円	2.41	5.56	3.15
潜在株式調整後			
一株当たり			
四半期純利益円	2.40	5.55	3.15
一株当たり			
純資産円	593.81	621.06	27.25

(4) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期実績 ('09/4-9)	前年同期 ('08/4-9)	増減	当期('09/4-9)の主たる内訳
営業活動によるCF	6,382	3,161	3,220	税金等調整前四半期純利益 1,213、減価償却費 3,985、 たな卸資産の減少額 895
投資活動によるCF	4,223	3,563	660	固定資産の取得 4,164
財務活動によるCF	4,965	392	4,572	短期借入金及びCPの減少 5,677、配当金支払 1,960、 長期借入れによる収入 2,700
換算差額	77	98	175	
現金及び現金同等物の 期中増加高	2,730	893	1,837	
連結の範囲の変更に 伴う増加	51	432	381	
現金及び現金同等物の 期末残高	5,179	5,137	42	

(5) 事業部門の設備投資(建設中の投資額を含む)及び減価償却費

(単位：百万円)

項目	当期年間計画			前年通期		対前期	
	金額	対外	うち2Q累計	金額	対外	増	減
設備投資	(うち海外)	(600)		(268)	(864)		
	アパレル	1,900	21.1	726	2,016	24.3	116
	(うち海外)	(900)		(163)	(554)		
	機能ソリューション	5,800	64.4	2,019	4,325	52.2	1,475
	(うち海外)	(0)		(0)	(0)		
	ライフクリエイティブ	200	2.2	76	234	2.8	34
全社	1,100	12.3	810	1,710	20.7	610	
(うち海外)	(1,500)		(431)	(1,418)			
合計	9,000	100.0	3,631	8,285	100.0	715	
減価償却費	アパレル	2,100	24.1	1,001	2,273	27.8	173
	機能ソリューション	4,300	49.4	1,878	3,774	46.2	526
	ライフクリエイティブ	1,300	14.9	668	1,379	16.9	79
	全社	1,000	11.6	438	743	9.1	257
	合計	8,700	100.0	3,985	8,171	100.0	529

(注) 設備投資金額には建設中の投資額を含む。
設備投資額には無形固定資産を含む。

(6) 通期業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想	前年通期	増減 (上段()は増減率)
売上高	142,000	151,470	(6.3) 9,470
営業利益	3,000	4,207	(28.7) 1,207
経常利益	3,300	4,198	(21.4) 898
当期純利益	1,200	1,551	(22.6) 351

(7) 事業の種類別セグメント業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想		前年通期		増減	
	金額	対外	金額	対外	金額	増減率
アパレル	82,100	57.3	87,329	57.0	5,229	6.0
機能ソリューション	47,800	33.3	51,642	33.7	3,842	7.4
ライフクリエイティブ	13,500	9.4	14,210	9.3	710	5.0
小計	143,400	100.0	153,182	100.0	9,782	6.4
消去	1,400		1,711		311	-
連結小計	142,000		151,470		9,470	6.3
アパレル	2,100	32.8	2,316	29.8	216	9.3
機能ソリューション	2,700	42.2	3,914	50.4	1,214	31.0
ライフクリエイティブ	1,600	25.0	1,539	19.8	61	4.0
小計	6,400	100.0	7,769	100.0	1,369	17.6
消去・全社	3,400		3,562		162	-
連結小計	3,000		4,207		1,207	28.7